

地域のコミュニティを育む花・緑の街 ～みんなで創る住みよい街・片平～

作成者：名古屋市緑区片平学区連絡協議会 会長 杉野 友昭

■ 実施主体

名称：名古屋市緑区片平学区連絡協議会

担当窓口：会長 杉野 友昭

所在地：愛知県名古屋市緑区鳴海町

■ 団体等構成

名古屋市の市区行政を円滑に運営する
小学校単位の住民自治組織

■ 取組地域

名古屋市緑区片平学区地内

■ 概要



愛知県名古屋市緑区の区政方針のもと、小学校区として地域社会の福祉の増進と住民自治の向上発展を図る事を目的として活動。

市区政に係る活動の中、個人・世帯での「自助」、行政の「公助」、地域で支えあう「共助」が重要と考えると共にもう一つ「近助（互助——向こう3軒両隣の近い関係）」を認識しつつ「安心・安全で快適なまちづくり」「地域で支えあう共助の仕組みづくり」「住環境向上——美化運動による環境課題への意識改革」をベースに「地域のコミュニティを育む花・緑の街～みんなで創る住みよい街・名古屋市緑区片平」を標榜しつつの活動である。

■ 取組開始時期・経緯

平成22年2月に地域において孤独死が発生した事による、高齢者の外出誘導としてコミュニティカフェの開設とシルバーパワーの活用のため新たな老人クラブの設立と従来ある老人クラブの活性化を図るため花をベースに『花いっぱい運動』を展開した。

その小さな活動が平成25年には環境省の「家庭環境教育強化事業」の環境課題に取り組む地域コミュニティ支援に採択をうけた事により、地域の環境づくり学習会として『Ecoカフェミーティング』としてその後も継続実施している。

■ 目的（目標）

「少子高齢化」「地域における人と人との繋がり希薄化」「地域コミュニティ機能の衰退・弱体化」「防犯・防災体制の確立」等の問題を解決するため

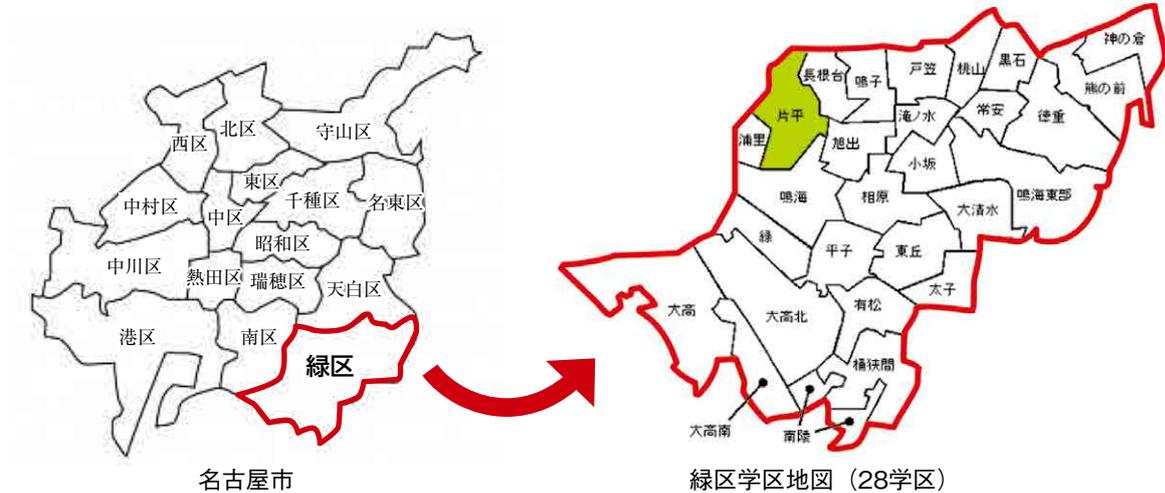
『地域での問題・課題の解決に向けて地域でできる事は地域で！』

を目標とする。

解決する手段として、花いっぱい運動をベースに、『花育』の基本理念の浸透と併せてシルバーパワーの活用と子供会、中学校園芸部との協働等の展開を行う。又、防犯・防災体制の確立として「一軒一灯運動」と自主防災訓練等の展開を継続実施している。

わたしたちのまちはどこにある？

片平学区は、名古屋市南東部に位置する緑区を構成する28学区のうちの一つで、下記に位置しています



名古屋市

緑区学区地図（28学区）

【1】地域の環境づくり学習会「Eco カフェミーティング」の開催

平成25年に環境省より「家庭環境教育強化及び体験の機会の場認定促進業務」における環境問題に取り組んでいる地域コミュニティに対して支援されたことにより以後継続実施をしている。

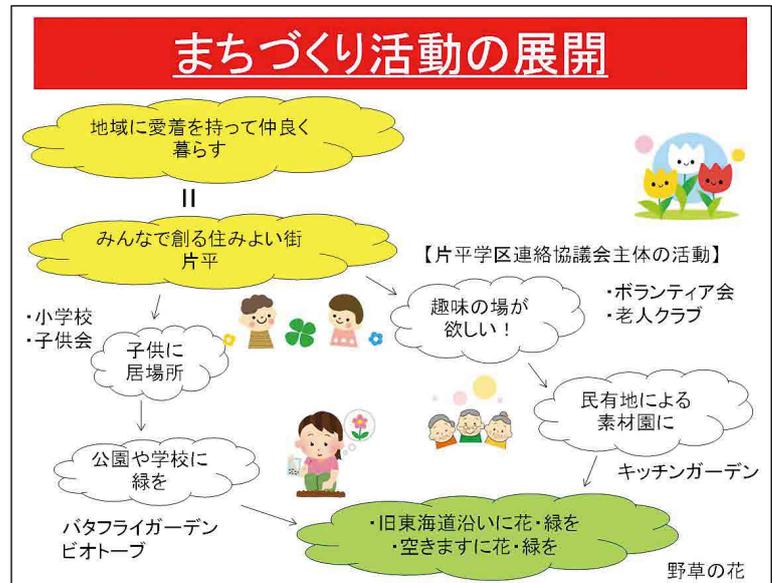
1. 第1回開催 日時：平成25年12月16日（月） 場所：片平ふれあいセンター
 - ・セミナー 「地域のコミュニティを育む緑」 講師 赤沢 宏樹（兵庫県立大）
 - ・ワークショップ（参加型学習会） 「みんなで創る住みよい街・片平」
講師 千頭 聡（日本福祉大学）

2. 第2回開催 日時：平成26年11月2日（日） 場所：片平ふれあいセンター
 - ・講義 「はじめませんか！花育」
講師 （一社）日本ハンキングバスケット協会 愛知県支部長 伴 和彦
 - ・環境メッセージ「花育」の発信と花種の配布
コーディネーター 千頭 聡（日本福祉大学）
 - ・講義①「竹林の現状と活用法を学びます」 講師 雑木林研究会 眞弓 浩二
 - ②工作 竹材を使って「花入れ」「竹ポックリ」づくりに挑戦！ 講師なごや竹和会

3. 第3回開催 日時：平成27年11月1日（日） 場所：片平ふれあいセンター
 - ・講義 「ゆるゆる園芸で玄関先から始めるまちづくり」
 - ・実技 防犯コンテナづくり
講師 まちづくりコーディネーター グリーンアドバイザー愛知 伊藤代表
※花の種と共に手作りの「ハーブソルト」を配布

【2】花いっぱい運動の展開

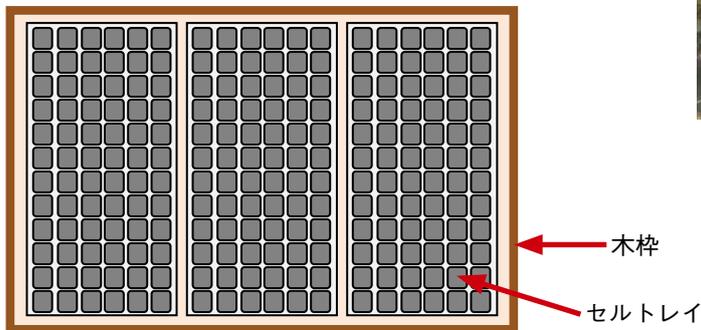
1. まちづくり活動の方向性の確認と決定（平成00年0月00日）



2. セルトレイでの栽培のための木枠づくり（平成28年3月24日）

①木枠の大きさ 60cm×94cm
21枠（7地区×3枠）製作・配布

②セルトレイの大きさ 28cm×55cm 72穴を使用
1つの木枠の中に、セルトレイが3個入る大きさ



3. セルトレイへの種まき作業（平成28年4月20日）

地域の人たちとの協働作業



つまようじで、一種一種をセルトレイへ



各地区10ヶ所で作業開始 マリーゴールドの種を播種



全体の種投入量は4,500粒



4. 種まき後の成長過程（平成28年5月5日）

セルトレイでの成長過程

木枠にビニールシートを貼り、その中に水を入れて
トレイの下から水を吸収させる手法を採用。

この時点で80%位の発芽率。



5. セルトレイからポットへの移植（平成28年5月13日）



6. ポットでの成長過程（平成28年5月28日）

順調に成長している。



名古屋市緑区のマスコットキャラクター「みどりっち」

安心・安全で快適なまち・緑区を推進しPRするため、「みどりっち」は「まちづくり隊長」「観光大使」として日々奮闘しています。緑の豊かさを象徴する「あたま」の部分には、大好きな「緑区」のシンボルマーク、耳元には若葉を飾ったお洒落な「みどりっち」。首元には緑区の特産品「絞り」のマフラーを巻き、有松の特徴ある町並み「なまこ壁」と、区内に見所も多い桜の花びら模様をあしらった洋服など、デザインの随所に緑区の特徴が散りばめられています。



7. 植付け作業（平成28年5月29日）

- ⇒各地でそれぞれが活動
- ⇒シルバーパワーの活躍



8. 花いっぱい運動の展開（平成28年6月4日）

子供会との親子ファミリー・老人クラブ会員等との多世代交流を兼ねた運動の展開
（空きますへの植付け）



【3】防犯・防災体制の確立

⇒花をベースにした快適な街づくりに加えて
地域の安心・安全な街づくりへの更なる展開

1. 一軒一灯運動の展開——全戸配布

⇒各家庭玄関灯や門灯を夜間に点灯させて
街全体を明るくし、空き巣や車上狙いなどの
犯罪を未然に防止する運動



玄関先に花のプランターを設置
プランターの下に防災グッズを入れている

一つ一つの小さな灯りが 片平学区を犯罪から守ります！

一軒一灯運動

朝まで点灯のお願い

あなたは、こんな経験ありませんか？
夜 帰宅すると、道路が暗くて怖い！
子ども達の夜や部活動の帰りか心配！

「一軒一灯運動」とは、ご家庭の玄関灯や門灯を夜間に点灯させて、片平学区全体を明るくし、空き巣や車上ねらいなどの犯罪を未然に防止する運動です。自身や家族の命、地域の命、子ども達の命、気負いできて効果の高い防犯活動を、あなたのご家庭でも、今晩から始めてみませんか？

そんな心配ある？ 朝まで点灯してあげる？ 電気代が心配…

この運動は、ご近所同士で声をかけあって地域ぐるみで行うことで、はじめて大きな効果が期待できます。わたし達のまち片平は、わたし達で守りましょう！

名古屋市長片平学区連絡協議会 会長：藤原啓明、藤原啓博

2. 自主防災訓練の実施 (28/9/25)

①在宅防災訓練 (シェイクアウト) の実施

安全行動の1-2-3

Drop! 姿勢を低く

Cover! 体・頭を守って

Hold On! 揺れが収まるまでじっとして

家族の安否を確認した後、安否確認情報として

⇒「わが家は無事です」カードの掲示



②避難しながら避難経路の危険個所をチェックしながら避難実施 (各自治町内会単位)

赤シール 道幅が狭いので倒壊家屋で通れなくなる

黄シール かけ崩れの心配がある

青シール 高低差があり避難ができない

③負傷者発生を想定した応急救護訓練他

・ A E D 仮設トイレの組み立て訓練 応急担架訓練 三角巾作成及び煙道体験の実施



④100円均一で揃う防災用品コーナー
緑区社会福祉協議会の展示コーナー

⇒地震対応として家具転倒防止器具の展示と
実演も同時開催する。



■ 活動参加者や小学校、など地域の方からの声

○老人クラブの男性会員よりの声

男性は、現役時代は地域との結びつきが弱く、周囲の人々と親しくする機会が少なかった。しかし老人会に関わり、特に今回は「花いっぱい運動」に参加して周囲の方々と親しくなり地域の一体感を感じるようになった。

○サロンを運営している女性よりの声

地域の方々が花植に携わり外にでるようになり、元気がもらえるようになった。周りの方々にも声かけし、水やり・草取り、笑い声でにぎやかに。老いも若きも子供達と一緒に作業し、これからも盛り上げていけたらいいなと思っております。

○学区連絡協議会の役員よりの声

自助・公助・共助・互助の中で学区として「地域で支えあう共助の仕組みづくり」を重点に活動する中、学区委員のみではなく子供会の親子さん、老人クラブの人達、中学校の園芸部の皆さん等みんなで、わいわいがやがやしながらの活動の広がりこそが互助・共助ではないかと喜んでいる。

